

～落ちこぼしをつくらない～

# 芸濃地域のふくしを 考える会

生活支援

コーディネーター通信

※生活支援コーディネーターは  
地域のみなさんとともに地域  
での支え合いの仕組みづくり  
に取り組んでいます。

令和4年

Vol.29 10月13日

## ～会の趣旨～

私たちが暮らす芸濃地域を

**「いつまでも暮らしやすいまち」**にしていくため、  
地域で活躍する各団体が連携（ネットワーク強化）し、  
それぞれが把握する「地域情報」等を共有し、  
それぞれの団体にできることを考え、  
具体的な活動に取り組んでいくことを目的とした、

ゆるやかな**「話し合いの場」**です。



↑考える会会長の  
片岡さん

### 活動への思い

⇒社会課題が複雑化する中、「地域  
にお住いの高齢者の方々等を支  
えるためにはどのようなことが  
できるのか」を考えた時、

**各団体の横の連携、情報  
共有**が不可欠だと考え、  
この活動を続けています。

### 今後について

⇒地域課題の解決にむけ、まずは  
**一つ一つ、チャレンジ**していこう。その為  
に、各団体の横の連携を強化し、情報共有  
しながら、**無理せず一つ一つ積み上げ**、  
芸濃地域の基礎を作っていきたい。



## <令和4年10月6日（木）、3つの取り組みを確認！>

### ① 見守り活動を進めていく！

困っている人が自ら「SOS」が出せるような地域、或いは  
周りの人が、困っている人の「SOS」に気づけるような地域に。

### ② 人と人とのつながりの促進

普段からの人と人とのつながりを育み、様々な形で人と人が  
つながれるような機会を各団体とともに知恵を出し合いにつくっ  
ていく。

### ③ 生活支援ボランティア支え合いのしくみづくり

制度やサービスでは対応できない生活のちょっとした困りごとを、芸濃地域の住民同士で  
助け合えるように。



この会には、「自治会、民児協、老人クラブ、地区社協、消防団、母子父子会、身障連、  
商工会、学識経験者、子育て支援センター、むくの木ワーク、津市芸濃総合支所、包括支援  
センター」等、芸濃地域に関わる様々な団体・機関等が参画しています。

まさに**「集合知」**です！みなさんの芸濃を愛する気持ちを、これからも応援していきます！

↑生活支援

コーディネーター